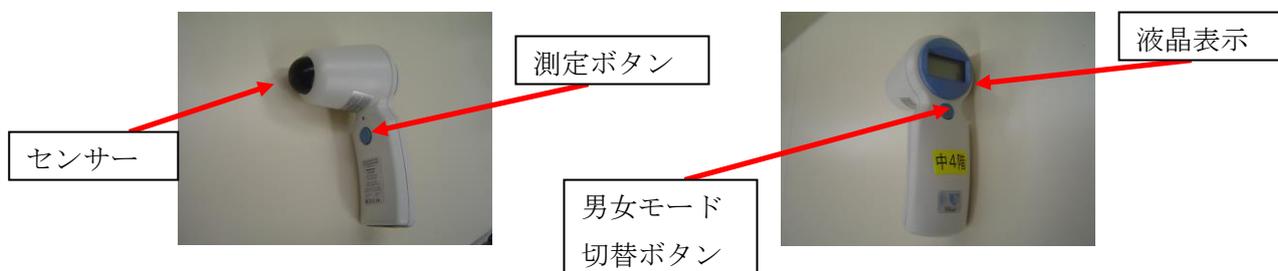


ブラダースキャン (ブラダ) の使い方

A. 本体の説明

- 1) 携帯電話などと同じように充電器において充電します。使用する際はゼリー、ティッシュと一緒に患者様のところへもって行きます。
- 2) 黒い球状の部分がエコーを発生して尿量を測るセンサーです。衝撃に弱いので落としたりぶつけないようにします。液晶に測定した尿量が表示されます。液晶の下のボタンは男性用、女性用の切り替えボタンです。裏のボタンで測定開始です。
- 3) 実際の膀胱容量が少ないときは腸に隠れて 0ml と測定されてしまう誤差が出ますが、膀胱容量が多いときは誤差はおおむね 15%といわれています。



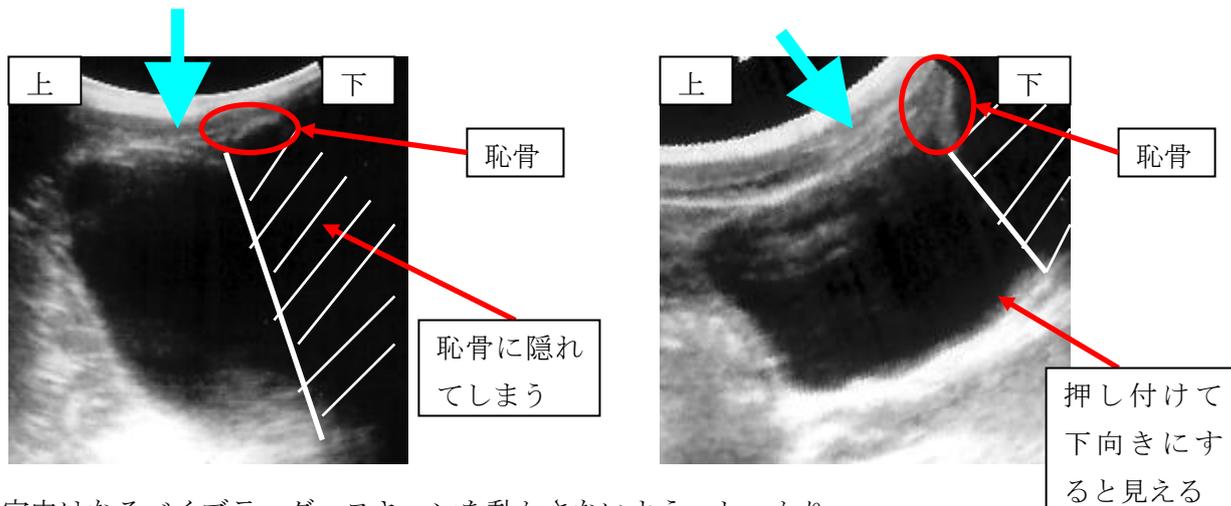
B. 使用方法

- 1) 男性モード、女性モードをあわせます。女性に男性モードを使うことは問題ありませんが、男性には男性モードで使用してください。
- 2) 久しぶりに使う場合は“試しうち”をします。
- 3) 患者様の着衣を下げ下腹部を出してもらいます。ブラダースキャンの黒い球状の部分にゼリーを塗ります。ゼリーパッドを患者様にはってもいいです。
- 4) 恥骨をさわってその少し上にブラダースキャンの黒い部分をあてます。
- 5) 測定ボタンを押し測定開始します。測定に 2~3 秒かかります。
- 6) 矢印が出た場合はねらいがずれているため、矢印の方向に向きをずらして測定します。
- 7) 1回のだけ測定では誤差が出やすいため 2回測定し、似たような数値がでるようであればその数値を採用します。



C. 測定のコツ

- 1) 黒い部分がしっかり皮膚にあたり、膀胱が近づくように、少し下腹部がへこむ程度に強めに押し付けましょう。患者様におなかの力を抜いてもらいましょう。
- 2) 膀胱がある場所を想像し、膀胱をねらってブラダースキャンをあてましょう。ねらいがずれると測定結果も誤差が出ます。
- 3) 恥骨に隠れた部分は測定できません。恥骨のある場所を触り、その少し上から恥骨の後ろ側にある膀胱をねらい少し下向きに押し当てます。尿がたくさんたまっている場合はブラダースキャンをまっすぐ押し当てます。



- 4) 測定中はなるべくブラダースキャンを動かさないよう、しっかり持ちましょう。
- 5) 腸のガスが間にあると測定結果は 0ml となります。少し強めに押し付けることで腸を逃がし、測定が可能になることがあります。しかし、そのような場合は尿量は少ないことが多いためしつこく測定を続ける必要はありません。数回連続で 0ml の場合は 0ml を採用します。
- 6) 1 回目と 2 回目が大幅に違う場合は同じような数字が繰り返し出るまでさらに測定を続けます。ある程度の誤差はありますのでだいたい同じであればちゃんと計測できていると判断してよいでしょう。



D. ブラダースキャンが間違えるとき

- 1) 腸のガスが膀胱を隠してしまう場合、膀胱の中に尿があっても 0ml となることがあります。直腸や子宮の手術後は特に起こりやすくなります。
- 2) 腹水、卵巣のう胞、子宮、前立腺、腸液は膀胱と間違えることがあります。間違えやすい人、間違えにくい人は決まっているため、誤差が出やすい人はカルテにそのように記録しておきましょう。